

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載する http://www.ferrotec.co.jp/
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQスタンダード

・株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

第36期 第2四半期決算報告

平成27年4月1日～平成27年9月30日
証券コード：6890



FerroTec

株式会社 フェローテック

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-3-4
日本橋プラザビル5階
TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848
URL <http://www.ferrotec.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

FerroTec
株式会社 フェローテック

財務ハイライト

売上高／経常利益



純資産／1株当たり純資産



株主のみなさまへ

おかげさまで 創立35周年を迎えました。



代表取締役社長 山村 章

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第36期第2四半期決算報告をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当社グループは、2015年9月をもちまして、創立35周年を迎えることができました。

これも、ひとえに株主のみなさまからの、ご支援、ご鞭撻の賜物であると存じております。

心より感謝申し上げます。

左記のグラフにお示したとおり、これまで山あり谷ありの経営実績でございました。

しかしながら、長期的には売上高、経常利益、純資産など、成長路線を維持してまいりました。

今後も着実に実績をあげてまいる所存です。

当社グループの属するエレクトロニクス産業は、IT技術が進歩を続け緩やかな拡大が見込めます。

太陽電池産業では、世界で太陽光発電所の設置計画が相次いで発表されております。自動車産業で

は、世界の自動車販売台数が高水準に推移しており、当社の製品は各産業で貢献しております。

当社グループは、株主のみなさまにとって「成長する楽しみが持てる企業」であり続けることに

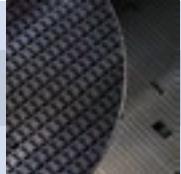
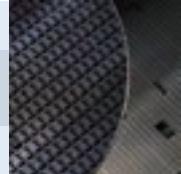
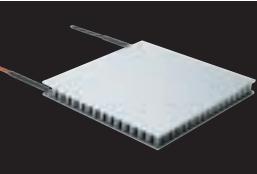
努めております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月

主力5製品の分野別 アプリケーション・マトリックス

当社の主力5製品を利用して開発された
身近にある製品を分野別にご紹介します。

真空シール			自動車産業分野		エレクトロニクス産業分野		家電民生品分野		医療分野	
装置関連 (半導体、FPD、LED等)		スマホ パソコン画面 ■		スマホ パソコン画面 ■		液晶テレビ ■		CTスキャン MRI ■		
装置関連 (半導体、FPD、LED等)		フラッシュメモリ CPU・LED ■		フラッシュメモリ CPU・LED ■		液晶テレビ ■				
装置関連 (半導体、FPD、LED等)		フラッシュメモリ CPU・LED ■		フラッシュメモリ CPU・LED ■				外科用内視鏡 医療用超音波エコー装置 ●		
電子デバイス (自動車、半導体、家電民生、医療、光通信等)		温調シート ナビゲーションシステム カップホルダー 電力制御パワー半導体 (DCB基板) ●		冷却チラー 光通信 発電 ●		エアコン 空気清浄機 ワインセラー 美顔器 シェイバー ●		血液分析装置 DNA増幅器 生態試料検査装置 ●		
電子デバイス (自動車、家電民生、医療等)		カーオーディオ ●				オーディオ TVスピーカー ●		バイオメディカル用 磁性ナノ粒子 ●		

フェローテックのグローバル戦略

当社は米国生まれのグローバルカンパニーとして、主力の装置関連事業(半導体・FPD業界他)成長ドライバーの電子デバイス事業(自動車・家電民生品・通信業界他)を強化し、持続的成長を目指します。



当社の米国西海岸の拠点



米国販売拠点として、Ferrotec USA本社オフィス及び磁性流体・真空シール研究開発・製造拠点を東海岸ボストン郊外のBedfordに構えています。

また西海岸には、シリコンバレーに程近いSanta ClaraにFerrotec USA及びADMAP Ceramicsの販売拠点を構え、北米の半導体製造装置メーカー、デバイス・メーカー及び自動車関連メーカー等の重要顧客に密着したきめの細かい営業、サービスを提供しています。

当社は中国の生産拠点を今後益々拡充し、北米、欧州、アジアの各戦略エリアへの供給体制を強化します。

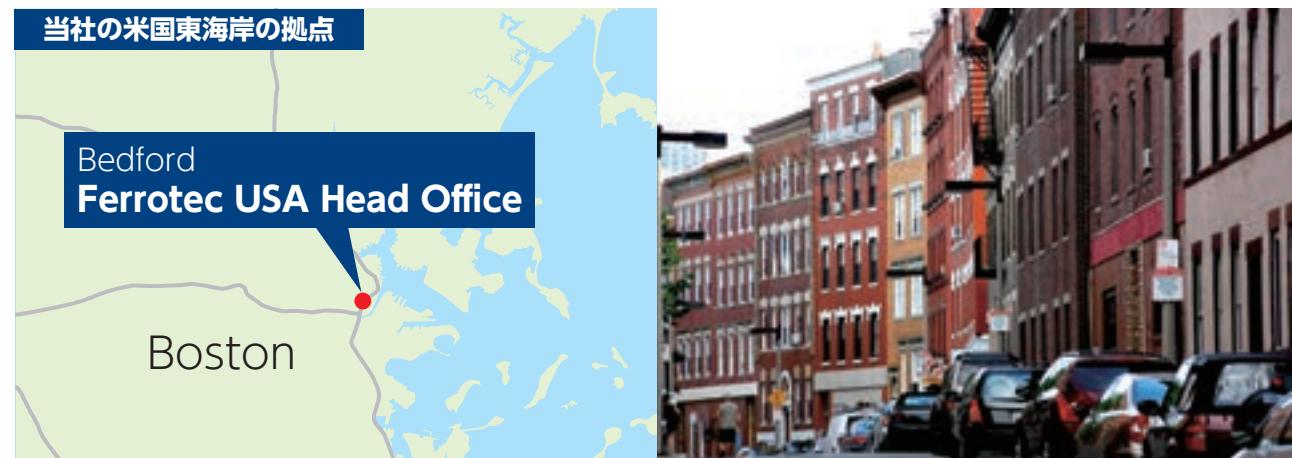
今後も、自動車産業向け温調シート用サーモモジュールの受注拡大及び装置関連セグメントの「マテリアル製品(石英・セラミックス・シリコン・CVD-SiC)」の販売強化を軸に北米市場の売上拡大を図ります。

当社のマテリアル製品は、半導体製造装置メーカー、デバイス・メーカーを中心に、お客様の最先端のテクノロジーを支えています。

装置関連事業を支える当社のマテリアル製品



当社の米国東海岸の拠点



2015年7月 SEMICON West (Moscone Center) の様子

当社は毎年、
米国 San Franciscoで
開催される半導体展示会
(SEMICON West)に
出展しています



Temescal 蒸着装置製造拠点 (Livermore)

当社の蒸着装置は
欧米市場のお客様を中心に、
LED及び通信チップの
電極形成等の用途に
用いられています



Ferrotec USA (Bedford and Santa Clara)

北米の販売拠点を
ボストン郊外の
ベットフォード及び
シリコンバレーに程近い
サンタクララに
構えています



(株)アドマップのご紹介

2015年7月から フェローテックグループに 仲間入りしました



岡山県玉野市の本社工場

(株)アドマップは三井造船(株)の100%子会社として誕生し、2016年7月1日に創立20周年を迎えます。岡山県玉野市に本社および製造工場を有し、日本国内はもちろん、アメリカや中国、ヨーロッパなど世界のお客様に高品質のCVD-SiC製品を提供しております。

販売拠点及びCVD-SiC製品の用途、今後の展開

販売拠点 日本：東京 米国：サンタクララ(ADMAP CERAMICS INC.)

※ (株)アドマップの子会社であるADMAP CERAMICS INC.はシリコンバレーに程近いカリフォルニア州サンタクララを拠点に北米の重要顧客にきめの細かいサービスを提供しています。

- 当社のCVD-SiC製品は、海外売上比率70%を超える、グローバルで競争力を誇る製品です。

フェローテックとのシナジーについて

- フェローテックの重要顧客、販売チャネルを活用したCVD-SiC製品需要の深堀、拡販
- 石英・セラミックス・シリコンパーツにCVD-SiCを追加したフェローテックの「マテリアル製品」で、日・米・中・台湾他の半導体製造装置・デバイスメーカーへの統合導入提案を強化

CVD-SiCのご紹介

CVD-SiCとは？

CVD法(シリコン成分と炭素成分を含むガスを反応させて製作する手法)で製作したSiC(Silicon Carbide：炭化ケイ素)の事を言います。



CVD-SiCの特性とは？

- 超高純度・高耐食性・高耐酸化性・高耐熱性・高耐摩耗性が強みです。
- CVD法で作られたSiCはとてもピュアで、とても丈夫です。
- これらの特性は、航空宇宙業界でも注目を浴びています。



アドマップのSiC製品

CVD-SiCの主なアプリケーション、今後の展開

主な用途実績 半導体製造装置用治具・部品(コート品・膜単体製品)
その他、SiCパワーデバイス(地下鉄・エアコンなどに搭載)の製造装置用部品
※人工衛星のミラー部品なども実績有り

今後の用途開発 航空機用部品、自動車用部品



セグメント別事業概況



当社は、製品用途の類似性と販売先業種により区分し「装置関連事業」「電子デバイス事業」及び「太陽電池関連事業」の3事業を報告セグメントとしております。

	第35期 第2四半期(内周)	第36期 第2四半期(外周)
装置関連事業	44.4%	46.1%
電子デバイス事業	14.2%	19.2%
太陽電池関連事業	34.7%	26.0%
その他	6.7%	8.7%

装置関連事業

売上高 **154億円** 営業利益 **14億円**

石英製品やセラミックスなど半導体の製造プロセスに使用されるマテリアル製品は、7月から新たにCVD-SiCが加わりました。スマートフォンやタブレットPCに使用される半導体およびフラッシュメモリーなどの生産が堅調に推移したため当該製品も需要増となりました。各種製造装置やロボットの回転機構に使用する真空シールは、液晶パネルや有機EL製造装置向けに需要が増加に転じました。また、シリコンウエーハ加工は、安定的な小口径ウエーハの需要があり底堅く推移しました。



セラミックス製品



真空シール

電子デバイス事業

売上高 **64億円** 営業利益 **12億円**

主力の自動車温調シート向けサーモモジュールは、米国市場での自動車販売が高水準に推移し、加えて中国市場向けの温調シート搭載高級車も堅調でした。医療検査装置やバイオ関連機器用途も好調で、家電分野や食品ケース用途なども堅調に推移しました。半導体向けチラーや光通信機器用途も、概ね計画のとおりとなりました。生産量確保のため自動化ラインの増設を行っております。一方、パワー半導体用基板も順調に売上を伸ばしました。磁性流体は、好調な車載用スピーカーを始め、4Kテレビ用スピーカーなど幅広く採用されております。



磁性流体



サーモモジュール

太陽電池関連事業

売上高 **87億円** 営業利益 **△7億円**

太陽電池産業は、世界市場で堅調な推移となりましたが、シリコン結晶製造装置の引合いはあるものの実需には至りませんでした。太陽電池パネルの材料となるシリコン製品は、多結晶ウエーハ加工から撤退した他、2014年末から推進していた生産拠点の移転を進めましたが、売上が伸び悩み業績を圧迫いたしました。消耗品である坩堝・角槽の需要も低調に推移しました。



OEM製品



石英坩堝

連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成27年9月30日現在	前期 平成27年3月31日現在
資産の部		
流動資産	51,597	44,418
固定資産	35,363	34,992
有形固定資産	27,945	27,739
無形固定資産	2,169	1,875
投資その他の資産	5,248	5,377
資産合計	86,960	79,410
負債の部		
流動負債	34,670	31,535
固定負債	11,109	8,443
負債合計	45,779	39,979
純資産の部		
株主資本	29,242	28,286
その他の包括利益累計額	11,055	10,559
新株予約権	16	8
非支配株主持分 ^(注1)	866	575
純資産合計	41,181	39,431
負債純資産合計	86,960	79,410

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	前第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
売上高	33,615	29,238
売上原価	25,067	22,561
売上総利益	8,548	6,677
販売費及び一般管理費	6,605	5,477
営業利益	1,942	1,199
営業外収益	415	236
営業外費用	469	602
経常利益	1,888	834
特別利益	29	2
特別損失	54	56
税金等調整前四半期純利益	1,864	780
法人税等	681	433
四半期純利益 ^(注2)	1,182	346
非支配株主に帰属する四半期純損失 ^(注3)	△19	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益 ^(注4)	1,202	354

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	前第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	3,596	4,373
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,316	△1,123
財務活動による キャッシュ・フロー	1,164	△2,513
現金及び現金同等物に係る 換算差額	109	△268
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	2,554	467
現金及び現金同等物の 期首残高	10,517	7,550
現金及び現金同等物の 四半期末残高	13,072	8,018

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	前第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで
四半期純利益 ^(注2)	1,182	346
その他の包括利益	506	△1,940
その他有価証券評価差額金	△116	85
為替換算調整勘定	618	△2,021
退職給付に係る調整額	2	2
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△7
四半期包括利益	1,689	△1,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,698	△1,552
非支配株主に係る四半期包括利益 ^(注2)	△8	△41

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※ 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。
各セグメントの売上高は、外部顧客に対する数値を記載しております。

「企業結合に関する会計基準」等の適用に伴い、(注1)「少数株主持分」は「非支配株主持分」に、(注2)「少数株主損益調整前四半期純利益」は「四半期純利益」に、(注3)「少数株主利益」は「非支配株主に帰属する四半期純利益」に、(注4)「四半期純利益」は「親会社株主に帰属する四半期純利益」にそれぞれ名称が変更になりました。

